

公の施設の指定管理者における業務状況評価

施設名	県立甫喜ヶ峰森林公園	所管課	林業環境政策課
-----	------------	-----	---------

1 施設の概要

指定管理者名	一般社団法人高知県山林協会	指定期間	平成24年4月1日 ~ 平成27年3月31日
施設所在地	香美市土佐山田町平山		
事業内容	(1) 森林公園における行為の許可等及び森林学習展示館の利用の許可等に関する業務 (2) 利用料金の徴収に関する業務 (3) 森林公園の施設、設備、機械器具、立木等の維持管理及び補修に関する業務 (4) 森林公園の設置の目的を達成するための事業の企画及び運営に関する業務		
施設内容	○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 森林公園の面積: 102ha 森林学習展示館: 鉄筋コンクリート平屋建、延床面積400.0m ² 利用時間: 午前9:00から午後4:30まで 休園日: 12月29日から翌年の1月3日まで 主な利用料金: 行商等、興行等 使用面積1m ² 当たり日額20円		
職員体制	常勤職員: 1人	嘱託員: 3人	合計: 4人

2 収支の状況

単位: 千円

		平成23年度(決算)	平成24年度(決算)	平成25年度(予算)
収入	県支出金	16,625	16,993	17,048
	参加料収入等	168	224	252
	収入計 (a)	16,793	17,217	17,300
支出	事業費	130	295	490
	管理運営費	3,497	3,318	3,080
	人件費	15,766	16,430	13,730
	支出計 (b)	19,393	20,043	17,300
収支差額 (a) - (b)		-2,600	-2,826	0

3 利用状況

	平成23年度(実績)	平成24年度(実績)	平成25年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	50,328	51,089	51,000
②利用者意見等の反映	<p>○ 利用者アンケート等の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業終了時に参加者の方々にイベントを知った媒体、年齢層等を把握するためアンケートの提出を求めている。 ・学習展示館館内に、アンケート用紙を常設し、入館者を対象に、甫喜ヶ峰森林公園に来た目的や年齢層等を把握するアンケートを実施している。 <p>○ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを分析し、参加者の意見を踏まえ、今後の課題を整理するなどサービスの向上に努めている。また、来園者からの意見については職員会議で話し合いをし、職員間での情報共有を図り、運営に反映している。 ・イベント開催時や、学校等が大人数で来園した際には、公園担当以外の本部職員の応援や、利用団体や地元の人たちとの連携を図り、利用者へのサービスの向上に努めるとともに、地域の活性化にも取り組んでいる。 		
③その他特記事項			

4 平成24年度業務評価

項目	状況説明
①適正な管理運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ローテーション勤務により常に2人の勤務体制を確立している。また、イベント時等状況に合わせて勤務人数を増加したり、山林協会本部からの応援体制がとれている。 ・「甫喜ヶ峰森林公園安全マニュアル」により、施設内も適正に管理され、利用者の事故を未然に防ぐ安全確保ができています。 ・来園者への注意事項はトイレや掲示板に掲示して注意喚起を行っている。
②利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の要望等を把握して、利用者のニーズに合わせたプログラムを提供している。 ・県民の憩いの場としての森林公園としての性格からできるだけお金を取らないというのは良いと思うが利用実績が微増である。 ・インターネットや紙媒体(情報誌・チラシ)、マスコミ(新聞・テレビ・ラジオ等)を利用してより広く情報発信しているが集客は立地的にも難しい部分はあると思う。 ・ホームページではイベント情報や甫喜の日記帳など更新をこころがけている。また、出前授業の際に宣伝する等地道な広報活動にも努めている。
③利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場の利用者が3,433人(前年度3,536人)と微減したが、入館者数はほつきーの館とあわせると8,116人(前年度7,034人)と増加した。入園者数も51,089人(前年度50,328人)と増加した。
④収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・事業収入が少なく、多額の持ち出しを行っているため、キャンプ場利用料を徴収するなど支出負担の軽減が図れる仕組みづくりが望まれる。 ・経費削減のためにボランティアなどの協力で草刈り・清掃活動を行っている。
総合評価 (A~D4段階)	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた管理費で、おおむね適正な管理が行われている。 ・事業収入が少なく、多額の持ち出しを行っているため、キャンプ場利用料を徴収するなど収支の改善が図れる仕組みづくりが望まれる。 ・ボランティアの養成、地域貢献、自己実現へのサイクルを意識した組織運営が望まれる。 ・利用している常連の人たちをもう少し上手く取り込む工夫が必要である。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの